

決算と予算の連動

多摩市議会は、2010年(平成22年)に「多摩市議会基本条例」を制定し、その第9条に「決算と予算の連動」を定めています。これを実現するため、4つの分科会でそれぞれ関連する施策や事業の調査研究を行います。

今年度行う令和3年度の事業評価は、各分科会で評価対象事業を選定し、決算の視点を重視した評価を行い、次年度予算に反映させるべく、具体的な改

善ポイント等を指摘する形で行うことにしています。

各分科会で選定した事業について7月から8月にかけて勉強会などを行い、9月16日から28日の間に開催される予算決算特別委員会とその後の本会議において、それぞれの事業に対する「議会の評価」を協議・確定する予定です。

生活環境分科会

評価対象事業：地球温暖化対策事業

選定理由

地球温暖化対策は、地球規模でも地域でも、昨今極めて重要なテーマです。しかし、事業展開の将来性を考えた上での具体案が不足しており、市民への啓発も限定的であると感じています。

令和3年度に行うとされていた啓発事業などの効果や、補助金による再生可能エネルギー・省エネルギー機器等の導入推進について進捗状況を確認し、常任委員会の2年間のテーマである「多摩市気候非常事態宣言」の具体化をどのように進めていくのか、来年度に策定する予定の「多摩すみどり環境基本計画」及び「多

摩市地球温暖化対策実行計画」にどう繋がっていくか、市民協働をどう進めるかの視点で評価したいと思います。

なお、環境保全啓発事業・ごみ減量化推進事業についても同様の視点で調査を行い、本事業の評価に活かしていきます。



子ども教育分科会

評価対象事業：教育活動指導員配置事業

選定理由

平成13年度より多摩市単独の事業として実施された事業です。教育活動指導員(通称：ピアティーチャー)は、主に児童・生徒の個別指導の補助として活用され、学校において、より多くの眼で児童・生徒を見取る指導面での充実とともに、教員の負担軽減においても有効な人的支援となっています。

特別支援学級のみならず通常の学級においても特別な配慮を要する児童・生徒が増えてきているため、学校現場でのピアティーチャーの需要は年々高まり、今後もさらに需要が増えていくことが予測されます。

このような中で、需要に見合う配置がなされていると言えるのか、学校間で差はないか、ピアティーチャー配置で学校運営の安定が図られているのか、特別な配慮を要する児童・生徒の実態に沿った適切な配置となっているのか、さらなる配置の工夫は出来ないか等を検証・協議し評価します。

